

「変わる文庫」

小説は、まず単行本として刊行され、数年後に文庫化されるのが一般的ですが、現在、そのような出版形態に変化が起きているのをご存知でしょうか。

時代小説作家の佐伯泰英は、以前より「書き下ろし文庫」という体裁にこだわり、多くのファンに支持されています。「(文庫は文学賞の対象にはならないが) 600 円で買ってくれる読者がいれば、他には何もいらぬ」と、あるインタビューで語っています。その言葉には、“書き下ろし文庫”の先駆者として、読者への熱い想いが込められているように感じられます。最近の代表的な例には、“いきなり文庫”としてミリオンセラーとなった、東野圭吾の『白銀ジャック』や、宮部みゆきの新作時代小説『おまえさん』(文庫、単行本同時発売)、京極夏彦の『ルー＝ガルー2』(単行本、文庫、ノベルズ版、電子書籍の4形態で同時発売)があります。この背景には「出版不況が続く中、できるだけ本を読者に届けやすくするために、読者に形態を選んでもらいたい」という出版社や作家の意図があると言われています。

また、最近では文庫化でブレイクを果たす作家も台頭しています。その代表的な作家が『九月が永遠に続けば』の著者・沼田まほかる、『殺人鬼フジコの衝動』の著者・真梨幸子です。二人に共通しているのは、物語が非常に陰惨であるという点。この傾向を「震災以降、ただのハッピーエンドに物足りなさを感じる人が増えたのではないか」と分析する専門家もいますが、実際のところ、爆発的ブームのワケは謎に包まれたまままだそうです。世に埋もれていた二人の作家ですが、今では凄まじい売れ行きを見せ、どの書店でも店頭山積みされ注目を集め続けています。

今「文庫」は、人気作家、無名の作家、そして私たち読者に様々な読書の可能性をもたらしていると言えるのではないのでしょうか。

『白銀ジャック』



東野 圭吾/著
実業之日本社
B913.6 ヒガ

スキー場のゲレンデの下に爆弾が仕掛けられた。警察に通報できない状況を嘲笑うように身代金奪取が繰り返される。すべての鍵は1年前に血に染まった禁断のゲレンデにあった。

『九月が永遠に続けば』



沼田 まほかる/著
新潮社
B913.6 ヌマ

最愛の息子が失踪した直後、愛人の男が事故で死んだ。もしかして、息子が殺した...? 亡霊のように現れる過去の絆。第5回ホラーサスペンス大賞受賞作品に加筆して単行本化。

『殺人鬼フジコの衝動』



真梨 幸子/著
徳間書店
B913.6 マリ

一家惨殺事件のただひとりの生き残りとして、新たな人生を歩み始めた10歳の少女。だが、彼女の人生は、いつしか狂い始めた。何が少女を伝説の殺人鬼・フジコにしてしまったのか?

図書館カレンダー

毎週**火曜日**は休館日です。
開館時間 10:00~20:00



2月 February

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

3月 March

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

冬の図書館イベント報告

長崎市立図書館で行われた、色々な冬のイベントについてご報告します！



図書館からスタジアムへ！

ヴィヴィくんサンタからのクリスマスプレゼント☆



大人気のヴィヴィくん♪



選手のおすすめ本をチェック！



図書館の仕事もお手伝い（！？）



レストラン池田屋にも登場！

12月23日（金）、V・ファーレン長崎のマスコットキャラクターであるヴィヴィくん、クリスマスプレゼントの葉を来館者の皆さんに配布してもらいました。

ヴィヴィくんは子どもからご年配の方まで大人気でした。「今シーズンはどうだったの？」という質問や「頑張ってるね！」という声を多く聞くことができ、ヴィヴィくんも嬉しそうでした。

来シーズンは長崎市内の会場でのゲームがあります。長崎市民にV・ファーレン長崎を知ってもらえる良い機会となったのではないかと思います。



開館4周年イベント

みんなの思いを届けよう！絵馬・カレンダー作り



みんなでワイワイ♪



カレンダーを作成中☆



絵馬の完成～！



カレンダーは被災地へ送ります

長崎市立図書館では1月7日（土）8日（日）に、開館4周年イベント「みんなの思いを届けよう！絵馬・カレンダー作り」を開催しました。

図書館にとっても市民にとっても新しい一年の始まりに、自分の思いや目標を書いた絵馬を作って楽しんで頂ければと企画しました。また、“震災を風化させず復興を応援していることを伝えたい”との気持ちを込めて作成して頂いたカレンダーは、東日本大震災被災地の応援メッセージとして被災地にお届けする予定です。

たくさんのご参加ありがとうございました。

偽り

このコーナーでは、毎月ひとつのテーマをもとに司書2名がおすすめの本を紹介します。

「偽り生きていく男たち」

一般的に、「偽り」とは事実ではないことを言いますが、ある辞書には“「偽り」は「嘘」よりも意識的、作為的で、改まった言い方である”と書かれています。今回は、自らを偽り生きる男の人生を描いた2冊をご紹介します。

まず1冊目は、絲山秋子『不愉快な本の続編』。印象的な題名は、主人公が「僕は不愉快な本の続編のような人間だ」と自己表現するところからきています。男の名は乾。自他共に認める嘘つきで、東京から逃げ出し、新潟で人を好きになり、富山でとんでもないことを密かに実行し、故郷の呉に行き着きます。そこで、乾が見たものは…。

大嘘つきの乾にも、たまに吐く真実があります。読者の中には、それこそが私たち人間の本質的な部分でもあり、真理でもあるという一種の共感を覚える方もいらっしゃるかもしれません。ラスト数行、物語の終わり方がとても素敵な1冊です。



『不愉快な本の続編』
絲山 秋子／著
新潮社
F913.6イト

2冊目は、山田詠美『ジェントルマン』。誰もが羨む美貌と優しさを兼ね備えた“ジェントルマン”である青年・漱太郎。同級生の夢生は、そんな完璧な漱太郎のおぞましい本当の姿を、あるとき偶然に垣間見てしまいます。その瞬間に心を奪われ、彼に恐怖を感じつつも、人生を捧げ続ける夢生の純然たる愛に「偽り」はありません。



『ジェントルマン』
山田 詠美／著
講談社
F913.6ヤマ

衝撃のラストは、多くの読者にとって、忘れがたいワンシーンになることでしょう。

(司書：佐藤 美加)

「偽り」の先にあるもの

今月は節分の月。そこで、今回ご紹介するのは、鬼のお話の絵本『酒呑童子』です。悪さをする“酒呑童子”という鬼を退治しようと、京の人びとが源頼光をはじめとする豪傑を送り込む、というあらすじです。源頼光一行は自らを山伏にかえ、鬼退治に向かいます。源頼光らは調子のよい“偽り”を申し立て、酒呑童子たちに近づいていきますが…。物語のラストまで、気の抜けないこの絵本。豆まきの後、家族みなさんで楽しんでみてはいかがでしょうか？



『酒呑童子』
下村 良之介／絵
舟崎 克彦／文
「京の絵本」刊行委員会
日本絵本 E イ

さて、“偽り”は何も昔話だけにはとどまりません。次にご紹介する本は、有川浩の『ヒア・カムズ・ザ・サン』。この本は、二つの物語で構成されています。二話とも登場人物が一部共通しているのに、全く別の物語になっています。どちらの話も魅力的な物語なのですが、私がおすすめしたいのは、最初の物語です。物にふれるとその物にまつわる想いが見えてしまう主人公・古川。あるとき雑誌の企画で知り合った脚本家の“手紙”に触れ、その脚本家が嘘をついていることに気づいてしまいます。脚本家が家族のためについた優しい嘘—“偽り”とは？



『ヒア・カムズ・ザ・サン』
有川 浩／著
新潮社
F913.6アリ

『ヒア・カムズ・ザ・サン』は有川浩の最新作なので、現在大勢の方が予約をされています。気長にお待ちいただけるようであれば、ぜひご一読ください。

(司書：小川 さやか)



〈寄贈紹介〉「大川美美子文庫」

故大川美美子様のご遺志により、読書を通じて豊かで明るい人づくり、社会づくりに貢献したいというご趣旨のもと、ご遺族一同により平成17年1月に6,603冊(1,000万円相当)で大川美美子文庫を設置されました。

その後もご遺族が寄贈を続けられ、今年度は大川英明様から504冊(50万円相当)をご寄贈いただきました。これまでにいただいた図書は10,033冊になります。ありがとうございました。

〈図書貸出券には有効期限があります〉

- 登録された日以降の誕生日から3年2ヶ月後に期限が切れます。
- 有効期限の6ヶ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。また、有効期限の2ヶ月前から、カウンターで更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの2ヶ月間に行ってください。
- 更新手続きには申込書の記入と、本人であること・住所・生年月日が確認できるもの(免許証や保険証など)の提示をお願いいたします。(小学生以下の方は申請書の記入のみ)
- 旧貸出券も新しい図書貸出券への切り替えを行ってください。
- 有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。

これらの旧カードは、有効期限が切れているため、ご利用いただけません。



〈東公民館図書室の仮移転終了についてのお知らせ〉

東公民館は、建て替え工事のため、古賀地区市民センターに仮移転しておりました。この度工事が終了し、平成24年1月30日(月)に、以前と同じ場所に新館が開館し、図書室も新館内に移転しましたのでお知らせします。

移転先：東公民館(以前と同じ場所) 開館時間：9時～21時
 住 所：長崎市矢上町19-1 休 館 日：年末年始
 電 話：095-838-3732



〈図書館ラジオ〉 毎月第2金曜日、午後2時、長崎シティFM(81.3MHz)「ウィーパラライブラリー」内で放送中!

物語の舞台はある出版社の辞書編集部、主な登場人物は、少し個性的な辞書編集部の人たちです。「辞書づくり」をテーマに、普段見ることができない世界に触れ、言葉の奥深さを感じさせてくれる内容です。

前半はややコミカルですが、後半は感動的な展開を見せ、ラストに涙を流す方もいらっしゃるかもしれません。誰が読んでも、物語の魅力を存分に味わうことができる一冊です。



『舟を編む』
三浦 しをん／著
光文社
F913.6ミウ

〈長崎市立図書館 予約本ランキング〉

(1月15日現在)

※予約が集中している本は数ヶ月お待ちすることがあります。予めご了承ください。



順位	書名	著者名	出版社	予約数
1	マスカレード・ホテル	東野 圭吾	集英社	384
2	謎解きはディナーのあとで	東川 篤哉	小学館	310
3	真夏の方程式	東野 圭吾	文藝春秋	267
4	人生がとぎめく片づけの魔法	近藤 麻理恵	サンマーク出版	242
5	麒麟の翼	東野 圭吾	講談社	209
6	謎解きはディナーのあとで 2	東川 篤哉	小学館	182
7	境遇	湊 かなえ	双葉社	173
8	下町ロケット	池井戸 潤	小学館	163
9	ジェノサイド	高野 和明	角川書店	155
10	心を整える。	長谷部 誠	幻冬舎	138